

「ひびきあいの日」取組アルバム



施設の方との交流



生徒が考えた人権標語



手話をやってみる子どもたち



保育園児とのふれあい活動



人権に関するアンケート発表



学校代表標語発表

「ひびきあいの日」のまとめ

- 人権に関わる標語を交流し、自分たちで人権宣言をつくり、互いの意識を高める活動を行った学校がありました。また、児童生徒が自らのこととして考える集会が多くもたれました。
- 児童生徒に「仲間を意識した言動」や「相手のことを考えた言葉遣い」が見られるなど、具体的な姿の変容を確認することができた学校が多くありました。
- 学校全体で取り組んだり、家庭や地域社会と連携して取り組んだりするなど、幅広い活動が行われ、互いの人権感覚を高め、様々な人権問題の解決をめざす雰囲気がつくられました。
- 取組の中で様々な活動が行われましたが、活動後に自分の生活や生き方を振り返ることも重要です。様々な人権問題とかかわらせて考えさせたり、活動を通して、人への見方がどう変わったかを考えさせましょう。
- 様々な活動を広げて、ねらいが不明確になる場合が見られました。明確なねらいをもって、活動を精選していくことが必要です。
- いじめ問題について、教職員は日常の児童生徒の姿を正確に把握し、早期発見、早期対応に努めること、学校という組織全体で対応することが重要です。あわせて、いじめを見た時に「やめよう。」と言える児童生徒の育成、いじめの加害者にならない児童生徒の育成も必要です。いじめを許さない態度は、実際にいじめを許さない雰囲気が浸透する学級・学校で生活することを通じて、身に付けることができます。そのためには、教職員一体となって雰囲気づくりをしていくことが重要です。

ひびきあい

No.5

平成 19 年 3 月 岐阜県人権同和教育協議会

人権同和教育における 行動力の育成を図る取組

岐阜県の人権同和教育は、「岐阜県人権同和教育基本方針」に基づき、人権同和教育で培いたい3つの力（認識力・自己啓発力・行動力）の育成をめざして取り組んでおり、地域や学校の実情に即した実践が進められ、着実な成果をあげています。

さらに、平成 18 年度からは、とくに人権同和教育における行動力の育成を主な目的とする取組「ひびきあいの日」を設け、人権問題に対する実践的態度の育成を図り、人権感覚を高め、同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決をめざしました。

ねらい

- 人権同和教育における行動力の育成を図る。

実施期間

- 「ひびきあいの日」は、人権週間（毎年 12 月 4 日～ 12 月 10 日）のうち、各学校が設定する日とする。この期間に実施できない場合は、その前後に設ける。

キャッチフレーズ

- 幼稚園向け
- 小学校向け
- 中学校向け
- 高等学校向け
- 盲・聾・養護学校向け

**みんな なかよし
つなごう 人と人 心と心
あなたの心を行動に
磨こう人権感覚 つくりあげよう共生社会
心と心で支え合い 笑顔あふれる毎日に**



「ひびきあいの日」の取組を表彰しました

「ひびきあいの日」のすぐれた取組に対して、岐阜県人権同和教育協議会長名で「表彰状」を出しました。

選考方法

- 提出された資料をもとに、岐阜県人権同和教育協議会ですぐれた取組を選定しました。
- 選定にあたっては、次の観点から評価しました。
 - ・行動力を育成する取組が工夫されているか。
 - ・取組が学校体制や PTA、地域との連携の中で、組織的・継続的に行われているか。
 - ・幼児児童生徒がこれまでの生活を振り返る機会をもっているか。
 - ・幼児児童生徒に教師の適切な評価がなされているか。



「ひびきあいの日」の取組紹介

提出された実施報告書の中から、すぐれた取組を紹介します。

中津川市立神坂幼稚園

1 実施概要

年5回、地域の老人クラブと交流会を計画・実施している。老人クラブの方々に幼稚園に来ていただき、花壇や園庭の草取りなどの作業、かごづくりやわら細工などの制作活動、伝統行事やカルタ、お手玉、竹とんぼなどの昔ながらの遊びを、子どもたちといっしょに行った。

2 園児の姿

回を重ねるたびに、子どもたちがお年寄りと自然に話ができて、分からないところを聞いたり、聞かれたことに答えたり、明るく接する姿が見られた。

3 成果

お年寄りの仕事をする姿（草刈り、草取り）やものをつくる姿（縄づくり、わら馬づくり、お手玉づくり）を見て、尊敬の気持ちをもつことができた。

瑞穂市立生津小学校

1 実施概要

保護者や地域の方々とともに地域清掃を行い、地域の方々といっしょに話したり、感想を交流したりする機会をもった。活動後、地域の方々のすばらしさや地域を大切にしたい気持ちを作文に表した。また、福祉クラブの活動発表（障害のある方から学んだこと）から、人とのかわり方をテーマに作文を書き、学級で紹介したり、作文をもとに話し合いを行ったりした。

2 児童の姿

地域の方々や顔見知りになり、多くの人と自然にいっしょに話せるようになってきた。また、障害のある方やお年寄りの気持ちを考え、身近にできるボランティア活動へ協力しようとする意識が芽生えた。

3 成果

取組を通して、差別や偏見に対する理不尽さを知り、決して行ってはならないものであることが確認された。また、人とのかわり方について、自分の行動目標をもつことができた。

大垣市立江東小学校

1 実施概要

あいさつ強化週間を学期に一度ずつ設定し取り組んだ。とくに12月には、積極的にあいさつする姿を紹介し、あいさつすることのよさを交流した。また、祖父母との交流や幼稚園児・保育園児との交流を行うなど、人とのふれあいを大切にする活動も行った。

2 児童の姿

あいさつをすると、「一日頑張ろうと思う。」「元気になって気持ちがいい。」などの感想が生まれ、あいさつのよさを実感する姿があった。取組後も、6年生全員が毎朝あいさつ運動を展開するなど、あいさつの輪が広がった。

3 成果

全校児童に、「自ら進んであいさつをしよう」という意識が高まった。また、幼稚園児や保育園児といっしょに遊んだり活動したりする中で、相手の気持ちを考えて行動することができるようになってきた。



南舎昇降口前でのあいさつ運動

郡上市立和良中学校

1 実施概要

人権集会を年4回実施し、「和良中人権宣言」の改正、あいさつや適切な言葉遣いについての話し合い、生徒が人権についての標語をつくり互いに審査し表彰する「人権標語コンクール」などを行ったりした。また、保育園や老人会を訪問し、ふれあい活動を行ったり、講師を招いて生き方を考える生き方講話を年2回実施したりした。

2 生徒の姿

人権集会では、日常生活に隠れている差別について話し合い、どのようなことが差別につながり、どうしたら差別をなくすことができるのか、一人一人が自分の思いを語ることができた。自分の心を語ることが、差別をなくしていく第一歩だと改めて感じた。

3 成果

標語づくりを通して、一人一人の願いに気が合うことができ、学校のめざす姿を明らかにし、一人一人の人権意識を高めることができた。また講話を通して、自分自身の生き方を考えることができた。

県立武義高等学校

1 実施概要

全校で人権啓発映画「今を生きる」を鑑賞し、ハンセン病についてその差別の歴史を知った。そして、全校統一テーマ「人権について考える…何を今自分たちができるであろうか」に基づいて、各クラスで人権に関する諸問題について話し合った。

2 生徒の姿

「いじめ」や「いのち」に関わる内容の話し合いが多くあった。テーマをしぼり、自分たちに、今何ができるのかということに焦点を当てて、充実した話し合いができた。生徒からも「意義のある話し合いであった。」「自分を見つめる機会になった。」という言葉が出てきた。

3 成果

「自らを大切にする」「仲間のことを考える」といった基本的なことを再認識し、学校生活を送る姿が見られるようになっている。

県立長良養護学校

1 実施概要

「ひびきあい週間」を年に2回設けた。期間中は、あいさつ運動や募金運動を行ったり、人権に関するビデオを鑑賞したり、エイズについての正しい知識と理解を深めるレッドリボン運動を行ったりした。また、校内に「ひびきあいコーナー」をつくり、自己の生き方や人権について考えるきっかけをつくった。

2 児童生徒の姿

レッドリボン運動では、HIV感染者への応援メッセージが寄せられたり、「ひびきあいコーナー」には、「友だちと会えるのが楽しいよ」などの温かいメッセージが掲示されるなど、各自が自らの思いを表現することができた。

3 成果

自分たちにできることを考え、募金活動やレッドリボン運動を行うなかで、偏見や差別に立ち向かう力を高めることができた。今後、自らの思いを作品に表現し、作品展を開催する。



募金運動